

令和6年度 第2回弥富市総合教育会議

1. 日 時 令和7年3月4日(火) 午前10時45分～
2. 場 所 弥富市役所まちなか交流館2階 会議室
3. 出席者 市 長 安 藤 正 明 副 市 長 村 瀬 美 樹
教育委員会
教 育 長 高 山 典 彦 教育長職務代理者 阿 部 康 治
委 員 浅野美喜子 委 員 矢 野 浩 一
委 員 宇佐美貴江
歴史民俗資料館長 伊 藤 隆 彦 生涯学習課課長 飯 塚 義 子
4. 説明者 教 育 部 長 渡 邊 一 弘 教 育 部 次 長 柴 田 由 美 子
学校教育課課長 田 畑 由 美 子 学校教育課主幹 入 山 宗 弘
学校教育課主幹 三 浦 聡 学校教育課課長補佐 日 原 友 美
5. 開 会
6. あいさつ
7. 議 題
 - (1) 小学校再編整備方針について (資料①)
 - ア. 交流活動
 - イ. 校歌 (資料②)
 - ウ. 校舎
 - エ. スクールバス
 - オ. その他
 - (2) 中学校再編について
 - ア. 交流事業 (資料③)
 - イ. 十四山中閉校式 (資料④)
 - ウ. その他
 - (3) 教育委員会における学校跡地利活用について
 - (4) 部活動地域展開の進捗について

8. 報告事項

(1) スクールカウンセラー・SSWの活動について (資料⑤)

(2) いじめ・不登校者数等報告 (資料⑥)

(3) その他

9. 閉会

.....○.....

5. 開会

- 部長より 令和6年度第2回総合教育会議を始めさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。次第にもありますとおり、今、教育委員会で進めています小学校の再編、また中学校の再編、そして跡地の話を少しさせてもらいながら進めたいと思います。地域の部活動展開という教育委員会のテーマがありますので、これらについて本日のテーマとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

.....○.....

6. あいさつ

- 部長より 市長よりごあいさつをいただきます。
- 市長より おはようございます。本日は足元の悪い中、年度末ということで大変お忙しい中、総合教育会議にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。今日昨日と打って変わって冷えた朝でございまして、昼間も気温が上がらずということで肌寒い一日になる見込みでございますが、まだまだ天気もこのような調子でなかなか安定しない春の天気かなと思っているところでございます。それぞれご自愛いただければと思う次第でございます。さて年度末と申しまして、学校でもやはり1年間の締めくくりとなってくるわけでございますが、これまでの教育委員の皆様方への感謝、そしてまた学校の先生、また地域の方々への感謝を申し上げたいところでございます。78年という大変長きにわたりまして地域の子どもたちの教育と成長を支えていただきました十四山中学校がいよいよ3月24日に閉校の時を迎えることとなったわけでございます。本当にこれまでの改めて、教職員の方、保護者の方、地域の皆様にはお支えに感謝を申し上げるところでございます。閉校というのは1つの区切りとなるわけでございますが、また新たな出発ともなるわけでございます。子どもたちや保護者の皆様はさぞかし不安かなと思うこともあるかと思い

ますが、でも大人以上に子どもたちというのは柔軟な耐性の持ち主といいますかね、すぐ慣れてくれることと思います。十四山中学校の子どもたちが弥富中学校へ行って、1日も早く慣れて、大きく大きく成長されることを願っているところでございます。また中学校は3月7日、小学校は3月19日に卒業式を迎えます。教育委員の皆様にはこちらにもご出席を賜りますようお願いを申し上げ、ぜひその式においても温かく子どもたちを見守っていただければと思う次第でございます。さて本日の議題にございますが、冒頭、部長から説明がありましたとおりでございます、いくつかあるようでございますので、弥富市の子どもたちの未来に向けての有意義な会議になりますことをお願い申し上げ、冒頭のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 部長より ありがとうございます。

.....○.....

7. 議題

- 部長より 議題に入りたいと思います。取り回しは市長、よろしくお願いします。
- 市長より 議題（1）小学校再編整備方針について、アからオまでありますが、事務局から一通りの説明をお願いします。
- 三浦主幹より 小学校再編整備方針について資料1をごらんください。次第からめくって3枚目です。こちらは2月26日に行われました小学校再編委員会におきまして使用した資料となります。再編委員会におきましては学校運営部会、教育計画部会、施設資料部会、通学のスクールバス部会、PTA部会の、全5つの部会をもって構成されております。部会ごとにこちらはこれまでの経過報告とともに今後の見通しについて示させていただいてございます。また資料の番号が書いてございますのは再編委員会での資料となります。本会議の資料との番号の整合性が違っております。ご注意ください。
- 三浦主幹より まず最初、交流活動について説明をさせていただきます。別紙資料でクリップ留めの資料。こちらの「よつば小学校」の未来の6年生になる、

現2年生の子どもたちの集合写真です。これは2月19日（水）に初めての対面での4小学校の交流を行いました。その様子を再編だよりとして掲載させていただきまして、本日9時に保護者の皆様に配信をさせていただきました。裏面においては、この際の子どもたちの感想をいくつか載せさせていただきました。やはり子どもたちの思いを知ると、この再編の意義を感じております。なんとか子どもたちの思いを実現したいと、パワーをもらえるものになっております。また昨日まで1週間ほどクローバーテレビでもこの様子をジモトピという番組で放映していただいております。地域の方も保護者も観ていただいたという声も聞いております。まずこちらをご報告させていただきます。令和7年度におきましてはまた交流を全学年で考えております。そして小学校1年生におきましても、このような楽しいレクのある交流会も考えております。今後の見通しにつきましても、来年度4月から5月におきまして第2回の教育計画部会を開く予定で、また先生方とともに子どもたちの良い交流の場を考えていきます。交流活動につきましては以上です。今は教育計画部会のお話をさせていただきました。続き資料施設部会につきましては2月19日、第2回施設資料部会を実施いたしまして、学校の先生方と共有をしてきました。中学校の施設資料部会におきまして、こちらがお手本となって、また3年後実施されていくわけですが、小学校におきましては余裕をもって学校と進めてまいりたいと思います。次回は5月中旬ごろに第3回施設資料部会を予定しております。続きまして資料1の表の一番下、通学路スクールバス部会について説明いたします。こちらは今現在、スクールバス停候補地とスクールバスの運行経路等、具体的なものを検討しております。徒歩通学の通学路の検討も今後、学校とも共有しながら具体的なものを来年度の早い段階で提案させていただきたいと考えております。今後の見通しにつきまして、先ほどの再編だよりがあったクリップ留めの資料、「よつば小学校開校時における児童クラブの利用についての意向調査」という資料をごらんください。こちらは先週の再編委員会で承認をいただきまして、昨日より3月10日までの1週間、Googleフォームにおきまして、調査を今、させていただいている真っ只中でございます。こちらはスクールバスの下校時の利用する児童の数を把握したいという思いと、学校教育課と児童課が連携しながら今後の再編事業に見通しをより持つ

ていきたいというねらいがございます。意向調査の具体的な内容ですが、1枚目の裏面から2枚目にかけて、Google フォームの質問項目を載せさせていただきました。簡単に答えられる項目です。可能な限り答えていただきますようお願いいたしますということを強く、保護者の皆様にはうったえました。現在3歳から6歳までのお子様、プラス今の1年生、2年生のよつば小学校区の保護者の皆様を対象にさせていただいております。最後、3枚目の両面刷りのものが保護者の皆様に配布させていただいた資料です。本日、朝8時半現在、回答数を確認しましたら57件の回答が、1日で行いました。家庭数は約260前後を見立てておるんですけど2割ちょっとの回答率でございます。100%に近づけばいいなと思っております。これが今、通学路スクールバス部会の進捗状況です。来年度においてはその部会を開きまして、家庭教育委員さんにも入っていただきながら保護者の目線、学校の先生方の目線もいろいろご意見をいただきながらさらに進めてまいります。資料1、裏面の最後です。PTA部会の活動です。こちらは各学校、校長先生、教頭先生中心に進めていただいております。PTA規約の確認をしていただいたり、今後、組織、役員選出方法等を作っていただくというところで動いていただいております。令和7年度9月ごろまでにPTAの方針を決定していただく予定です。最後、学校運営部会、お願いします。

- 次長より 学校運営部会ということで本日は校歌制作についてお願いします。資料2。弥富市立よつば小学校の校歌制作について（案）です。主旨については1番にあります。よつば小で学ぶ子どもたちは地域に愛され、たくさんのふれあい活動を通してこれからの弥富の未来、日本の未来を担う生きる力を身に付けてほしい、そんな願いを込めております。そして子どもたちは卒業してもともに仲間と集まったら、過ごした時間とか思い出とか、そんなことが思い出される。そしてそんな願いを込めた魅力ある校歌を作りたいと考えております。2. 協議事項をごらんください。ア. 作曲についてです。作曲は音楽の専門性が求められると考えますので弥富市にゆかりのある方をお願いをしたいと思います。候補としてはヤトミウインドアンサンブルさんを考えております。11月3日に受託の意思表示をいただいております。作曲に当たっては謝金はなしで依頼をしたいと考えております。イ. 作詞についてです。歌詞については作曲者の意向に沿

った方向で進めることを原則と考えておりますが、地域に愛され、そこを1番にしたいという考えから、公募としたいと考えています。ただ公募の場合、すべての歌詞を作ることは難しいので、子どもたちや地域の方々が参画しやすいように言葉やフレーズの募集と考えております。そして応募された歌詞を編集する作業を校歌制定委員会として、教育委員会が委嘱した委員にお願いしたいと考えます。その人数構成は10名程度で幅広い年齢層の方をお願いをしたい。その中には作曲者は入ると考えております。裏面をごらんください。ウ.現在の各小中学校の校歌の作詞、作曲者の一覧です。3.スケジュールについては後ほど、表にまとめたスケジュールがあるのでそこで確認をします。続きまして次ページ。弥富市校歌制定委員会設置要綱についてです。設置第1条の設置所掌事項についてはごらんおきください。第3条、組織については10人以内。先ほど10名程度と先ほど言いましたが10人以内で組織をしたいと考えております。学識経験者、知見を有するもの、小学校再編委員会の学校運営部会の委員、教育委員会が必要と認めるもので組織として立ち上げます。委員の任期はごらんのとおりです。委員長につきましては委員の互選によって定めていきます。第6条、7条、8条はごらんおきください。関連していますので続けて説明させていただきます。裏面のよつば小学校の校歌の歌詞に入れたい言葉、フレーズ募集要項(案)というものと、その次、ホームページにあげたり印刷をしてお配りをするものですが内容は同じですので、その次のページのほうがわかりやすいので、「新しく誕生するよつば小学校の校歌の歌詞に入れたい言葉、フレーズを募集します」を使って説明をします。募集内容については4つ。よつば小学校としてふさわしいもの。未来を拓く子どもたちの学校にふさわしいもの。親しみや愛着のもてるもの。この先の多様な価値観、生きる力の育成にふさわしいもの。そんな内容を考えています。募集期間は7月18日から8月18日。子どもたちの夏休みに合わせて募集期間としました。応募資格については1.弥富市内在勤者、在学者、2.市外在住の再編対象校の卒業生。3.市外在住の再編対象校の教職員、元教職員も含まれます。応募方法についてはとなりにQRコードをまだ貼り付けておりませんが、オンラインフォーム。もしくは裏面の応募用紙以外のところにはがきだったりFAXだったりも可とします。応募は1人3点までとします。先ほど選定についま

しては申し上げましたが、応募があった言葉やフレーズをもとに校歌制定委員会で作詞を行い、作曲はヤトミウインドアンサンブルにお願いします。応募数の多い言葉、フレーズを採用するものではありません。その他のところでは著作権のこと、また個人情報に関することも記載をしました。裏面をごらんください。こちらが応募用紙です。一番上に1枚で応募できる言葉、フレーズは3点までと明記しています。そして例を入れてあります。最後にスケジュールについてご説明いたします。次のページ。本日、3月4日の総合教育会議で制定要綱、募集要項等を説明申し上げました。3月13日に学校運営部会でこちらについての確認と制作スケジュールについて協議をします。その下の3月下旬というところが、資料を消すのを忘れてしまいました。校歌制定委員を募集と書いてありますが、公募はしませんのでこちらは行いません。教育委員会が委嘱するとします。3月下旬からどんな方がいいかと教育委員会として考え始めます。校歌の募集要項を7月号に載せたいと考えます。5月上旬の定例委員会で校歌制定委員の選考について協議をし、7月上旬の定例委員会で校歌制定委員を決定します。そののち、部会、委員会を経て、夏休み前、7月上旬、中旬あたりで関係4小学校に市教委が出向いて、ぜひみんなも校歌を作ってみようということで出前授業を行っていきます。7月18日から1カ月。募集期間を経て、8月末で集約をし、8月下旬から下旬にかけて制定委員会や、再編委員会で進捗状況を報告いたします。校歌の作詞の部分については、令和7年9月から11月、約2カ月を考えています。11月下旬の制定委員会で協議を完了し、部会等を経て、1月上旬の定例教育委員会で校歌を決定します。その後、作曲開始ということで令和8年1月から同じ年の12月にかけて曲作りを行います。9年1月、校歌完成発表と考えています。そののち、関係小学校へ音源を送り、みんなで歌の練習をし、交流活動でも歌っていきたいと思っています。令和9年6月上旬に弥富市青少年健全育成大会があります。ここで再編4小学校の子どもたち及び作曲者であるヤトミウインドアンサンブルの方々の伴奏で発表をしたいと考えます。そして10年4月の開校式を迎えるというスケジュールで考えております。

- 市長より 校舎とかは。
- 次長より 先ほどの一覧で説明させていただきます。特に資料はございません

ので。

- 校長より ただいま事務局から小学校再編整備方針についていろいろ説明があったところでございますが、このことにつきまして質問がある方はお願いをいたします。丁寧に説明をしていただきましたし、また4小学校の2年生がちょうど6年生になるんですよ。いい交流会ができたと思いますし、新聞にも載っておりますし。このあと各学年でというお話もあったんですけど、再編校で一緒になる、ならず、関係なしにということですね。子どもたち全部ということで進めていかれる。わかりました。では次へ進んでまいります。議題（2）中学校再編について事務局から説明をお願いいたします。
- 三浦主幹より 資料3。中学校再編委員会だより第11号です。中学校もあと1カ月もなく、最後の再編のところですよ。それに向けまして、このおたよりは2月21日に発行させていただきました。表面が学校でいう3学期の間に行われた、またこれから行われる交流事業になります。1月30日、合同職業講話を十四山中、弥富中の1年生、合同で行われました。この際にプロソフトテニスプレーヤーの広光謙太氏とともに、弥富市役所企画政策課の廣田さん、防災課の島崎さん、学校教育課の宅見さんにも講師として来ていただきまして、講演をしていただきました。子どもたちの感想を見ますと、市役所の仕事をよくわかったとか、市役所で働いてみたいというような感想もいただきまして、すごくいい講演をしていただいて、子どもたちに刺激があったなと思いました。ありがたいなと思いました。また特別支援でも2月18日にオンラインでの最後の交流会を1年生、3年生揃っての最後の交流会をさせていただきました。今後、来週3月13日には弥富中。十四山中合同上級学校説明会、進路に関わるところで保護者の方も含めての説明会が行われる予定です。また3月21日におきましては今の6年生の子どもたちは新しく新中1になるのですが、その子たちも含めた6小学校と在籍する中学校の十中、弥中の生徒、合わせての交流会も行われます。裏面をごらんください。こちらは保護者の皆様へということで弥中と十中の保護者の皆様が少しでも安心して4月を迎えられるために、こちらに載せてある項目を明文化したものです。再編中学校の学級編成について。再編中学校の教職員配置について。子どもたちの心のケアについて。弥富中学校編入出張説明会。こちらも来週

火曜日に弥中の教職員が十中へ出向きまして子どもたちに午前中、午後には保護者向けの説明会を行う予定であります。少しでも不安等、解消していただけたらなという思いでの計画となっています。そして弥富中学校の来年度の年間行事予定もホームページにアップされておりますということで、来年度の見通しも保護者の方に使っていただけたらとのお知らせになります。十四山の地域の方とお話しすることがありまして、このおたよりを見られて、これがほしかった、これを見て安心したという声も聞きました。このおたよりも出してよかったなと思います。また今後、いろいろな声も気軽に学校や学校教育課まで声かけていただけたらというところも大事にしていきたいと思っております。資料3は以上となります。3月13日（木）、最後の中学校再編委員会がございます。長きに渡ってですが、こちらも改めて再編委員の方との、来年度に向けての希望が持てる会にしたいなと思っております。次、資料4。カラー刷りです。

- 次長より 十四山中学校の閉校式についてお願いします。3月24日、9時20分から10時10分です。こちらが式次第です。半分に折って見開きをする形なので、この資料でいうと裏面になりますが、式次第流れについてです。1. 市長の式辞をいただきまして、校長式辞。来賓あいさつということで国会議員の方からごあいさつをいただく予定であります。その後、卒業生代表あいさつ。来賓の方は総勢61名。その次に資料に載せさせていただきましたが、61名ご出席いただきます。本当はお一人一人お言葉をいただきたいのですが、時間もありますので紙面紹介に代えさせていただきます。そんな流れであります。その後、生徒代表の言葉。そして最後の校歌斉唱。最後、校旗返納ということで校長と生徒代表が教育長に校旗を返納する。そして教育長による閉校宣言。最後、閉式の辞という流れであります。次のものが来賓のお名前です。市長様におかれましては当日の動きとか流れについては課長から後日改めてご説明させていただきますのでよろしくをお願いします。なお、壇上に上がる方のみ略礼服で、あとの方は平服というように来賓の方には十中関係する、十中の校長先生からお話をされていますので、そのように対応をお願いします。

- 市長より ありがとうございます。ただいまの資料の3、4。中学校の再編についてということで事務局から説明がありました。御名一覧ということで、こ

ここに県議の名前がないのですけれど、先ほど、県議の名前を入れておいてほしいということ。ただ県議も議会の最終日でしたのでどうしても欠席になると思いますのでご了解いただきたいと思います。ご質問がある方、お願いいたします。

- 副市長より 資料3について。この小中学校未来構想のタイトルは変わるんですか？今度、4月から。中学校の未来構想はなくなるということでよろしかったですか。中学校の再編委員会だよりというのはこれが最後？
- 市長より 4、5ともう一回ある？閉校式があるものですから。
- 次長より 2回くらいありますね。4月19日かなんかに、シン弥富中ということ。
- 副市長より そこまで出てその後はタイトルも変わり、中学校再編委員会だよりというのはなくなるということですね。
- 学校教育課長より 弥富市小中学校未来構想が、小学校のほうはついていないので。中学校版はこちらのタイトルですが。
- 副市長より あ、小学校はついてない。タイトルはこのままで？4月以降の有無については小中学校未来構想として出てくる。小学校の子はまだ続きがあるのね。あるんだけどタイトルとしてはこのまま。なるほど。
- 教育長より 未来構想はあったのが事実なので。それに基づいての。
- 部長より タイトルはこのまま。教育長の言われたように弥富市小中学校未来構想に基づく小学校再編だよりというのが、小学校に出ているもの。
- 市長より 弥富中学校も弥富北中学校も、未来はまだまだ、そういうことを考えてもらわないかんもんですから、そのままで、小学校の令和10年4月までは少なくともこのままでいいかなと思っておりますもんですから。
- 副市長より 十四山の校旗は閉校後はどうなるんです？どこかに飾っておくんです？それとも弥富中学校も飾ってないもんだから、十四山の中学校も飾らずどっかにしまっておく？
- 教育長より 十四山中学校のものは、部活の優勝とかのやつは飾りますのでそこに一緒に入れてもいいかなと思いますが。
- 副市長より なるべく、子どもたちも思い出があるので、といっちはなんですけどどこかにあると、今の子どもたちが卒業するまでは思い入れもあるかもわか

らんもんで、そのような扱いをしてもらいたいのかなと。あくまでも希望ですけども。

- 市長より では次に進めたいと思います。（３）教育委員会における学校跡地利活用についてと（４）部活動地域展開の進捗について事務局から説明をお願いいたします。
- 部長より 学校跡地の利活用についてですけども、教育長が言ったように教育委員会ははじめ、財政や都市計画、児童課までいろんな課にまたがって跡地の利活用計画について進めているところですけども、教育委員会においてもまずは学校の跡地のことでもあるものですから、教育委員会でどのように考えていこうか、どうしようかということの進捗ではありますが、今、教育委員会では今度、会議で発表しております跡地利活用基本方針を教育委員の皆様に見ていただきました。そしてこれまで市長部局でも進めていた公共施設配置の資料に基づいて、学校の面積、グラウンドの面積であるとか、あるいは考え方などについても教育委員の皆さんにも説明し、話し合いをしていただいているところです。どのようにするか、最終的な結論については今、協議を進めているところで、夏前までを目途に議論を進めていきたいと思っているところでございます。グラウンドは、グラウンド利用率というのでしょうか、多くあるグラウンド、どこに配置され、どのように使われているかは委員にも少し説明をしてあるところでございます。どのようにグラウンドあるいは学校教育においても学校教育課としての利活用とかについても説明させてもらって議論をこれからと思っておるところでございます。
- 市長より 栄南小学校が地域で利活用、実行組合みたいなのが立ち上がってくるようでございますが各小学校でそのようなものが立ち上がってくると大変、市としても地元の意見を吸い上げやすいのかなと思っているところですけど。なかなか今の現状では多くの学校が市はどうするんだという話ばかりいたくものですから、地域の意向が一番大事かなと思っております。地域にまずは利用していただきたいというのが本当のところでございますので、市側の意見、また企業がおればそれのご紹介等をさせていただきたいなと思っておるものですから。今のところはまだ何も進んでいない状況で方向性を定めている状況ですから、何かありましたらいろんなアドバイスをいただければと思います。お願いします。

- 部長より 地域部活動展開について、進捗について説明させていただきたいと思います。この問題についても教育委員会では大変大きな課題となっております。資料、番号はついておりませんがカラー刷りのものです。これについては再三、市長にもいろいろな議案、機会をいただいて市長部局にもお伝えをさせていただいてもらっている。財政を含めてお話をさせてもらっているところです。このチラシの一番上にもありますが、教育委員会としては令和9年9月から土曜日、日曜日、休みの部活については学校から切り離していくということをすでに校長会を通してお話を進めているところでございます。これは地域展開ということについて少しお話しさせてもらおうと、これまで学校が担ってきた子どもたちが学校にいる間、部活として過ごしてきたものを、学校ではなく地域、子どもたちは地域でこういったスポーツに親しんでもらう、取り組んでもらうということで、指導者については地域の方をお願いをしていくんだというものです。ただ地域にやってもらうってお願いすれば済むものではないものですから、教育委員会としては子どもたちのこれからの居場所となるのですが、このものについて地域の方、受け入れていただける競技団体や指導者などについて、今も指導者については部活動指導員という形で市から予算をいただいて学校には配置をして部活動の指導について地域の方にやっていただいている部分もあるんですけど、これを発展させる。発展させた形で地域の方に部活動をお願いしていきたいと。スポーツや文化活動について学校終わったあと、授業後の取り組みについて地域の方をお願いしていきたいと考えているところです。今、動きとしては野球が新しい動き。裏面をみていただくと弥富の中学生の居場所として地域部活動展開活動ということで弥富クラブというのが動き出しまして、この4月からは部活動とは別の地域の指導者のもと、子どもたちを指導していただけると。子どもたちにとってはより協議種目をやりたいなという子どもたちにとっては新しい場所となってくれるんだろうなと思っております。まずは野球から、この春から動き出すというところです。ただ他にも話をいただいておりまして、吹奏楽であるとか少し動きがとれないかなと。少しずつ地域に話をしているところでございます。今は学校が部活動の担い手、部活動の運営、学校の教職員にやってもらっているのですが、これを地域にやっていただくにあたって、今、教育委員会で伺っているのは

弥富には総合型スポーツクラブ、NPOのスポーツクラブというのがあるものですから、他の町でもそういった総合スポーツクラブを使って、そこを母体にして受け皿になっていただいて、そこが司令塔となってやったりするところもあったりするので、本市としてもNPOをなんとか活用していきたいなと、このNPOをもう少し強化できればなど。来年度、予算をいただいてテコ入れをしていくと教育委員会は思っておりますので対応していきたいと思っております。最近の動きとしてはeスポーツというものもちよっと言われているのですが、部活動とはまた違うのですが、子どもたちが自由に取り組んでいるものの中では、弥富中学校とか、麻雀でeスポーツというのか、コンピュータの世界で競技をするものがあるんです。そちらで優勝した子どもも出るところです。そんな活動もしているということです。部活動が少しずつ動き出しているということです。わかりにくいところもあろうかと思えます。よろしくお願いいたします。

- 市長より 部活動の地域移行について説明があったところです。野球は春から、4月からですか。
- 部長より そうですね。4月から、案内としては4月から、野球は。
- 市長より 新しい学期が始まる時ですよ。ちょっといろいろ1年生もいろいろあると思いますので。ちょっと遅れるのかなと思いますけど。
- 部長より 少しずつ地域の方が受け皿となって活動していただけるといいのかなと。
- 市長より あとは、そのスポーツクラブもだいぶ荒れてます。10年くらいか。できてから。11年経ってなかなか自立できないスポーツクラブであったんですけど役員も少し入れ替わりまして、新たな体制のもとで子どもたちを受け入れる体制を作っていただくということで市も支援してまいりたいと思っているものですから、ちょっとその新しい体制に期待したいなと思うところが大きいのですが、引き続きそちらでもがんばってもらいたいなと思っているところでございます。子どもたちがスポーツに親しめる。スポーツをやることができる。こんな環境を作ってまいりたいと思います。eスポーツにつきましては、私はなかなか理解できない部分が多いんですけど、やっぱり体を動かす。また文化もあるんですけど。いろんなことに興味を持って打ち込んでいただける。そんな中学校3

年間になってほしいなと思っているものですから、ぜひ皆様方のご協力もよろしくお願いを申し上げます。何か質問はありますでしょうか。

- 副市長より 弥富市部活動地域展開推進協議会設置要綱。これは1月23日から動いているということでもいいんですか。
- 部長より ご指摘ありがとうございます。私、説明しないかんかったです。資料は別紙でついている、副市長からご指摘いただいたものです。この協議会というものを作りまして、このところでお諮りしながら進めていきたいと思っているものですけど。
- 副市長より すでに動いているんですね。では案はとっていただければいいなと思うことと、何人で組織しているのかな。
- 教育長より 上からいくとスポーツ団体の代表はスポーツ協会の会長さんになる予定。2.の文化団体の代表が文化協会の会長に。文化と両方なんですけど、NPOの理事長さんにもここに入っていただこうかなと思っています。3.保護者代表を両中学校のPTAからお一人ずつ。同じく学校関係も両中学校からお一人ずつ。小中学校の校長会長。ですから3人になると思います。
- 副市長より 学校関係者が3人。
- 教育長より あとは教育委員会の事務局。その他ということで必要に応じて。
- 副市長より では、まだ、開いていない。
- 教育長より これを定めるにあたっての準備会を開いて、今度は団体の役員がいろいろ変わりますし、校長先生も変わるので、正式なものについてはこの4月以降、5月くらいになるのですかね。
- 副市長より では、4月以降から施行されると思えばいいのかな。
- 教育長より この1月の日付は準備委員会をやった日です。
- 副市長より わかりました。いいです。もうすでに動いているんだなと思ったんだけど、まだ正式な発足はしていないということですね。
- 市長より ほかにありますでしょうか。ありがとうございました。議事は以上で終了いたします。その後の進行は事務局にお返しいたしますので、よろしくお願いします。

8. 報告事項

- 部長より 報告事項を少し。
- 次長より 資料5。令和6年度弥富市、相談体制の活動報告についてまとめたものです。（1）スクールカウンセラーですが令和6年度は3名のカウンセラーで配置をしました。特に小中連携に力を入れたので、小学校と中学校と同じカウンセラーの先生が巡回できるようにしております。また中1ギャップの軽減につながるようにカウンセラーの先生が小学校6年生の子どもたちに対して授業、いわゆる心理教育を行ったり、先生方へ入学に向けて「こういう力をつけるといい」という指導、助言、研修会を行ったりもしました。（2）弥富市スーパーバイザーの活動報告です。夏休み中に中学校区でカウンセラーの活用研修会を実施しました。先生方の意識に変容がみられて、その後、学校のカウンセラーにつないだり、カラフルにつないだりという案件が複数ありました。また緊急時発生の早期対応ということで、本当にこれまでもいろんな事案が起きたときにすごく助けていただいたのですが、それをもとに弥富市教育委員会の緊急支援の手引きというものをバイザーの先生を中心に作成していただきました。そこには学校と市教委とカウンセラーの役割分担とか、事案が発生したときの時系列のマニュアルとか、子どもたちにとるべきアンケートのワークシートとか、すべてが網羅されております。そういったものを今年作りました。3. はスクールソーシャルワーカーです。今年度から2名ということで1人は学校教育課籍、もう1人は日の出小学校の籍でという方式をとりました。本当に頻繁に情報共有を行っているの、児童課とか福祉課との連携が本当にスムーズに、早急な支援や対応を行うことができます。（4）教育相談コンダクターということで、中学校の再編に向けて現在お1人、お願いをしております。とりわけ十四山中学校では個人懇談会に担任と一緒に同席をさせてもらって保護者の思いと一緒に聞いて、助言を行いました。また特別支援学級の交流会を何回か行ったのですが、そのたびにおたよりを発行してもらって、その様子を保護者に周知をしていただいております。引き続き次年度は弥富中に籍を置いて、子どもたちを見守っていくことになって

おります。（５）特別支援教育指導員。長年、学校教育課に籍を置いて携わっていただいております。きめ細かい就学相談につながっております。２．次年度に向けて。教育相談コンダクターをもう１人、増員します。その方は校長ＯＢですので、その経験を生かして子どもたちの支援や指導のほかにも教職員への支援、それから多忙解消に向けた取り組み。そんなところでも力を貸していただきたい。支えていただきたいと思います。配置校は弥生と十四山東部小で。１学期までは弥富中学校と考えております。次。カラーのものがありますが、切れ目のない支援構築を目指してということで、今後、弥富市の教育相談体制が目指すものということで１枚示させていただきました。次年度までは種蒔き期として校内体制を整えて、令和８年からはアクティブが十四山支所に移転をしますので、それに伴ってカラフルも移転をし、カラフルも平日に開催できれば発達検査が平日にできる。そんなことも考えています。そうすると学校の外での相談体制がより充実するという、その図式にまとめたものになります。最後は「あなたをひとりにしない」という両面刷りのチラシですが、保護者を通じて、連絡アプリを通して、このようなものを送信して、裏面にはルビも振ってありますので、学校にも紙媒体の掲示用でお配りをしてと、誰でも手が届くような形でいろんなところに相談できるんだということを子どもにも保護者にも周知していただくものになっております。

- 部長より この件についてご質問はございますでしょうか。続いて不登校の状況についてよろしくお願いします。
- 入山主幹より 資料６。令和６年度不登校児童生徒の状況です。令和４年度、令和５年度、令和６年度の推移が載せてあります。令和７年度の１月末現在ですが、小学校では４４名が不登校となっています。うち９０日以上欠席は１６名。中学校ですと６８名、９０日以上欠席が２７名となっております。うら面です。分析としては不登校者数については小学生は昨年度と比較すると少し減少しています。中学生については不登校者数は同程度となっております。出現率については弥富市では小学生は２．６％、中学生は５．９％となっております。全県で見ますと小学生が２．４％、中学生が７．４％です。不登校の出る割合については県の平均と比較しますと中学生の割合は低く、小学生の割合が高くなってお

ります。不登校で一番多い理由としましては小中学生ともに無気力、不安というのが多くなっております。小学生の50%、中学生の48%が無気力、不安でなかなか学校に行くことができないという状態になっております。また近年かなり多くなってきておりますのがスマホ、オンラインゲームに熱中するあまり生活リズムが不規則になりまして登校できず、不登校になっていくというケースが多いといえます。前年度の不登校者の多くが翌年度、引き続いて不登校になるケースが非常に多くなっております。課題といたしましては小学校から中学校へのスムーズな接続というのがやはりキーワードとなってきます。アクティブについてですが、まだまだたくさんのお子さんが通っている状況からパーティションなどで部屋を仕切って、なんとか活動している状態であります。先ほど申し上げましたがスマホやオンラインゲームに熱中して、そのまま生活リズムが崩れていくというケースが多いので、ネット依存から生活リズムが崩れてということを食べ止めるために学校と家庭が連携しながら未然防止、早期対応をしていく必要があると考えます。

- 部長より この点に関して、ご質問かご意見はございますでしょうか。
- 副市長より 今、小学生でもスマホを持っているのですか。高学年であれば？
- 入山主幹より 低学年から持っておりまして高学年になればなるほど多いです。ほぼほぼ持っているという状況にあります。
- 市長より 学校へは持ってこないですね。
- 入山主幹より 学校へは持ってこないです。
- 市長より 中には持ってきている子もいるかもしれない。
- 入山主幹より かもしれませんが。ただ、ほとんどが持っている状態だと思います。
- 副市長より 今、スマホの使い方は学校でも教えてもらっていると思うんですけども、そういうことをやってもやっぱり親には響かんですか。子どもはなかなか自分がやりたいばかりなのでいかんですけども。親も時間制御をするとか夜になったら取り上げるとかというところはなかなか浸透はしづらいですか。
- 入山主幹より 状況としましては子どものほうが詳しい状態であります。制限するアプリも当然あります。ただそのアプリがあるという認知も状態であります

し、なかなか子どものほうがそれをよくわかっていて、なかなか制限というところまでは。制限されている方はもちろんしていますけど。なかなか制限するのもいちいち保護者が全部操作をしなければいけないので。そこも難しいのかなという状態であります。

- 副市長より 例えば夜9時までだよとか、ここに置いていきなさいよとかの指導はなかなか難しいのかな。
- 入山主幹より 声掛けはしている状態なのですが。
- 副市長より ぜひ続けていただいて。そんなことで不登校になってしまって、一生取り返しができなくなってしまうと、かわいそうなもんですから。また引き続き、一生懸命やっていたいただいているとは思いますが、よろしく願いいたします。
- 市長より 電話メーカーがそういう制限を付けた電話を子ども向けで出してくれるといいですけどね。電源が自動で落ちるとかフィルタリングが万全の携帯だとか。そういうものがあると。
- 宇佐美委員より 子どものほうが詳しいので。うちも制限はしてますけど勝手にパスワードを入れて解除してやっているのですから。子どものほうがどうやって調べたんだろうって思うんですけど、うまいことそこをすり抜けて。
- 市長より 子どもってそういうことは得意ですからね。ずる賢いといえどもですから。
- 副市長より 反面のICT教育なのか・・・。
- 市長より 世の中、スマホで大きく変わっちゃいましたからね。いろんなことが、弊害のほうが多いかなと思いますね。私はないほうがいいですもんね。休みのときなんか、何も連絡ないほうがいい。子どもたちは楽しいツールの1つですから離せないですよ。
- 部長より ほかはよろしいでしょうか。全体を通して何か、よろしいですか。
- 副市長より その他の中で。スクールバス部会があって、これでずっと入ってきているじゃないですか。そのときに4小学校区だけに限らんですけど、スクールガードというのが地域見守り隊というのか、そういう話というのは併せてしていただけるのでしょうか。

- 部長より 進めていかないかなと思っています。進めてまいります。
- 副市長より よろしく申し上げます。バスに乗る、乗らんということももちろんあるんですけども、西部小学校ではそれぞれの地域でスクールガードが立っていただけておれば、また安心もできるでしょうし。ただなにぶんにもボランティアだろうし強制できんところがあるもんだからいかんのですけど。福寿会とかね、いろんなところに声掛けをしていただきながら考えてもらえると。
- 部長より これまでも説明会とかいろいろ回っているのですが、バスについてお話しをする中で、例えばこれまでだと学校まで送ってもらって、学校から連れってもらって、そういうのがあるんですけど、バスの区域ではそういうのはなくなるんですけど、なんとかバス停まで来ていただけないかとか、例えば子どもたちの確認ではないですけど、子どもたちを見守ってもらえませんか、と話をすると、なかなか難しいねという声が聞こえてはくるんですよ。今も西部なんかでもスクールガードやってもらっておるところなんですけど、もちろん毎日ではないところもあったりする中で。今、副市長が言われたとおり十分わかってもらったうえで……。進めてまいります。
- 副市長より 今後、区長会もあるしね、区長の皆さんにも声掛けをしていただきながら、いろんなところで声をかけながら、子どもたちがね、せっかくバスに乗って行く中において弊害ばかりを言われると、せっかくのバスが死んじゃってはいかんもんですから。そんなところをうまく乗り越えられるような方策をいろんな方面に声掛けしながら進めていけるかなと思っていますので。またお願いします。市側にもあれば言ってもらえばいいし。いろんな機会を通して。広報を使って募集するのもいいし。
- 部長より やれると地域力も上がるのでいいのかなとは思っております。

…………○…………

9. 閉会

- 部長より では、これをもちまして、第2回弥富市総合教育会議を閉じさせて

いただきたいと思います。ありがとうございました。

.....○.....